



ほうへいかいほう

Vol.80 2018.3.15

豊平會報

北海学園大学同窓会 ● 編集責任者 / 高田哲也 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161



CONTENTS

- 2 「同窓の夕べ」 総会・懇親会
- 4 新会員に期待する / 卒業おめでとう
- 5 第10回ホームカミングデー
- 6 2018年度入試動向について
- 7 就職戦線
- 8 研究室のいま 森下宏美教授
- 9 卒業生奮闘記
- 10 現役学生インタビュー
- 11 OPEN SPACE
- 12 平成29年度全国支部長会議
- 13 支部紹介 旭川支部
- 14 支部だより
- 15 支部現況・連絡先
- 16 クラブ・サークル活動通信 / 事務局からのお知らせ

同窓会支部長紹介(45支部)

平成29年度
北海学園大学「豊平会」総会・懇親会



恩師・来賓紹介



挨拶 森本正夫会長

平成29年度 総会・懇親会

「同窓の夕べ」



江別支部旗披露



よさこいソーランチーム粋〜IKI〜



学園グレートビンゴ!



爆音戦隊
ドリフトクイーン



全学応援団指導部



三本締め
名塩良一郎副会長

平成29年度 総会・懇親会

「同窓の夕べ」開催報告

「語ろうあの日を 語ろう今を」 幾星霜の道程に乾杯を！

平成29年度「同窓の夕べ」が10月28日(土)に札幌パークホテルにて開催され、道内外からの同窓生・学園・大学関係者約800名が参加しました。

総会は、関寛副会長の開会宣言後、森本正夫会長の挨拶、安酸敏眞学長の祝辞、高田哲也事務局長の事業報告が行われ、新しく支部に承認された江別支部の宮下次夫支部長へ森本正夫会長より支部旗が授与されました。また、出席した支部長45名が紹介されました。

懇親会は、恩師・来賓・平成28年度の学科幹事が紹介され、北海学園札幌高校 大西修夫校長の乾杯の後、今年度、準YOSAKOIソーラン大賞を受賞した現役学生「チーム粋(SIKI)」の演舞、本学卒業生を含む「爆音戦隊ドリフトクイーン」の演奏で会場を沸かせました。恒例の「学園グレイトビンゴ」は、特賞の海外旅行や豪華な景品に会場は盛り上がり、全学応援団指導部第63代団長の大塚将司さん(人文学部3年)のエールで学生歌を斉唱し、名塩良一郎副会長の三本締めで来年の再会を約し幕を閉じました。

平成30年度(総会・懇親会)は10月27日(土)18時より札幌パークホテルで開催予定です。

協賛・平成29年度『同窓の夕べ』ビンゴ景品一覧 ★ビンゴ景品のご寄贈ありがとうございます

- 海外旅行(2泊3日)ペアでご招待 1本 北海学園大学同窓会
温泉旅行(定山溪・登別・洞爺1泊2日)ペアでご招待 5本 北海学園大学同窓会
劇団四季「ライオンキング」札幌公演ペアでご招待 2本 劇団四季
空気清浄機 3本 中道リース(株)
コードレスアイロン 1本 札幌トロフィー(株)
コードレススティッククリーナー 2本 北海学園大学同窓会
精米器 1本 北海学園大学同窓会
ふとん乾燥機 1本 北海学園大学同窓会
スティッククリーナー 2本 北海学園大学同窓会
ハイパワーミキサー 3本 北海学園大学同窓会
ホテルノースシティペア宿泊券 1本 ホテルノースシティ
フローズンスイーツメーカー 1本 北海学園大学同窓会
商品券 5,000円 5本 (株)T&N北海道設計事務所
図書カード 5,000円 1本 中西印刷(株)
札幌パークホテル食事券 6本 札幌パークホテル
ホテルノースシティ食事券 5,000円 2本 ホテルノースシティ
ハンディーアイロン&スチーマー 6本 北海学園大学同窓会
プレミアムこしひかりギフト 2本 北海学園大学同窓会
お米券 4,000円 5本 (株)須田製版
JCBギフトカード 5本 (株)アイワード
清酒 北の錦 栗山英樹ラベル「仁・智・勇」 6本 小林酒造(株)
フォトプロ ミニ三脚・コンパクト三脚 各3計6本 (株)マキ商会
モロゾフ ファンシーデザート 30本 (株)ナシオ
芋焼酎 海童「祝の赤」 20本 カタギリ・コーポレーション(株)
ランチョンマット(ブルー・グリーン2枚セット) 840本 (株)ニトリホールディングス
「美味香」野菜バイヨン・だしセット 15本 (株)ラボット
日本酒「札幌村」 30本 岩田地崎建設(株)
ワイン 20本 道路工業(株)
特別純米酒 まる田 6本 ジンコーポレーション(株)
炊飯器用おかゆ調理器 9本 (株)すぎたま
Tシャツ・缶バッジセット 3本 爆音戦隊ドリフトクイーン

平成29年度

『同窓の夕べ』ビンゴ当選者

海外旅行 [2泊3日 ペア1組] 佐野 太氏 (平成10年・経済学部)

温泉旅行 道内温泉1泊2日 ペア5組

- 堀 久雄氏 (昭和44年・経済学部) 飯島 裕幸氏 (昭和57年・工学部)
井上 利廣氏 (昭和49年・経済学部) 瀧戸 賢司氏 (平成4年・工学部)
前田 晃彦氏 (昭和56年・経済学部)

劇団四季『ライオンキング』… ペア2組

- 田辺 伸二氏 (昭和57年・法学部)
石川 由憲氏 (平成6年・工学部)

コードレスアイロン …… 1台

- 行方 和夫氏 (平成3年・経済学部)

精米器 …… 1台

- 佐藤 禎洋氏 (昭和59年・経済学部)

空気清浄機 …… 3台

- 藤橋 真一氏 (昭和54年・法学部)
岸田 茂宏氏 (昭和55年・法学部)
矢野 美紀氏 (昭和60年・経済学部)

コードレススティッククリーナー 2台

- 新井田 一氏 (昭和45年・経済学部)
鈴木 聡氏 (昭和54年・経済学部)

ニトリホールディングス賞ランチョンマット(ブルー・グリーン2枚セット)

出席者全員

※今回は都合により海外旅行記の掲載はありません

新会員に期待する

会長 森本 正夫



北海学園大学・同大学院の学生生活を終え、晴れの卒業証書・学位記を手に新しく社会に雄飛される皆様に心からお慶びを申し上げます。

本日からは北海学園大学同窓会の会員として新たに仲間入りしていただくことになりました。若く実行力に富む皆様をお迎えできることは本会としては何ものにも替えがたい力強さを感じるものであり、心から歓迎を申しあげます。

ご承知のように、北海学園大学は昭和25年に北海道短期大学として発足し、27年には北海道における最初の四年生の私立大学として創立されました。今日では5学部12学科、各学部には大学院（博士課程）を有する道内最大の私立総合大学として、教育・研究実績が高く評価されてきています。

同窓会の発足は1期生が誕生する昭和29年3月であります。1期生と2期生が話し合い自らの門出を祝う会を開催するために同窓会を創ったのがはじまりです。

ここで改めて述べるまでもなく、同窓会は独立して存在するものではなく、常に母校北海学園大学の発展と一体となって将来を展望するとともに、会員85,000余名のひとりひとりがその重要な役割を充分にはたさなければならぬと考えています。私立大学を取りまく環境は、近年の長引く経済不況、そして回復の目途が立たない少子化社会の到来等厳しいものがあります。

このような時期に、皆様を会員として迎えることは、大変力強いことであり、社会人としての活躍を期するとともに、会員として母校発展のため、大いに協力をお願いし、歓迎の言葉といたします。



経済学部地域経済学科 中田 大高
所属ゼミ / 水野谷武志ゼミ
所属サークル等 / 経済学部ゼミナール協議会

- Q1 様々な夢・目標を持った人たちと出会えたことです。自分自身、これまでとは違ったもの見方・考え方が出来るようになりました。
- Q2 経済学部ゼミナール協議会という学生団体で会長を務め、全国の大学と協力し、多くの学術大会を成功させてきたことです。
- Q3 地元の農協職員として働きます。大学で経験したこと、学んだことを活かし地元旭川の地域振興を図りたいと思います。
- Q4 自分の良いところ、悪いところ、すべてを理解してくれている存在。些細なことでも相談し指摘し合える良い仲間でありライバルです。



経営学部経営学科 工藤 夏美
所属ゼミ / 伊藤友章ゼミ
所属サークル等 / 吹奏楽団

- Q1 自分の興味ある事や学業を真剣に取り組む環境が整っていた事です。特にゼミ活動とサークルは、自分の成長につながったと思います。
- Q2 サークル活動です。副団長として運営に携わった経験や、仲間と目標のために努力を重ねた日々は忘れる事のない宝物です。
- Q3 六花亭製菓株式会社の販売員として働きます。私の接客を通して、より多くの「六花亭ファン」を増やしていく事が目標です。
- Q4 「友達」という言葉だけでは表す事のできない大切な存在です。仲間がいたからこそ、ここまで自分が成長できたと感じています。

卒業おめでとう

卒業生の声

- Q1 学園大に入って良かったこと
- Q2 大学で頑張ったこと
- Q3 4月からは…(進路等)
- Q4 あなたにとって「仲間」とは??



人文学部英米文化学科 佐藤 豪
所属ゼミ / 柴田崇ゼミ

- Q1 年齢や国籍を問わず沢山の人と出会えたことです。グローバルな環境で多様な価値観に触れたことで、自身の成長に繋がりました。
- Q2 試験勉強を含む就職活動です。自らの努力と大学の支援が実を結び、納得のいく結果となりました。両親にも心から感謝しています。
- Q3 大学法人北海道大学の職員として働きます。将来は、本学で身につけた英語力を活かし、大学の国際化に貢献したいと考えています。
- Q4 苦楽を共にしたかけがえのない財産です。大学で出来た仲間は一生の宝だと思います。いつかまた笑顔で再会出来る日を心待ちにしています。



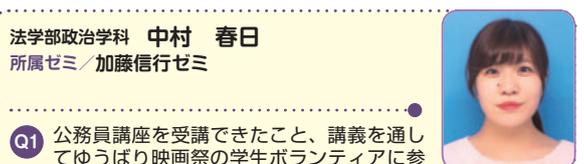
工学部建築学科 高田 絵利
所属ゼミ / 岡本浩一ゼミ
所属サークル等 / 粋〜IKI〜 (よさこい)

- Q1 大好きな建築の勉強もよさこいも頑張れたことです。よさこいは準大賞を2回、ゼミでは空き家の改修など充実した4年間でした。
- Q2 学業とよさこいの両立です。山鼻キャンパスに通いながら毎日よさこいの練習に行くのは大変でしたが引退まで頑張りました。
- Q3 ずっと夢だった設計の職に就きます。人のために設計することにやりがいと幸せを感じ、向上心を忘れず自らも成長していきたいです。
- Q4 心温まる存在であり、自分に足りないものを気付かせてくれる存在でもあります。周りの人達に支えられ、成長できた4年間でした。



大学院法学研究科修士課程法律学専攻 菊池 隆司

- Q1 社会人特例(長期履修制度)があり、年当たりの経済負担が楽な上、院生への研究支援制度もあったので、助かった。
- Q2 専攻科目以外もできるだけ力を注ぐことと、図書館の活用が心かかったことかな(結果として3年間の貸出累計は414件となった)。
- Q3 自己の研究テーマを発展させるため、より一層自己啓発に努めたい。
- Q4 研究分野が異なっても刺激し合える人達かな……



法学部政治学科 中村 春日
所属ゼミ / 加藤信行ゼミ

- Q1 公務員講座を受講できたこと、講義を通してゆーぱり映画祭の学生ボランティアに参加できたことです。
- Q2 公務員試験勉強です。不安で辛く感じることも沢山ありましたが、合格し共に喜んでくれる方の姿を見て、頑張った良かったと思いました。
- Q3 札幌市役所の職員として働きます。自分の耳で市民の方の声をきき、寄り添える職員になれるように頑張りたいです。
- Q4 辛いことも一緒に乗り越え、お互いを高め合える存在です。これからバラバラの進路に進んでも変わらぬ関係性で支え合いたいです。



第10回

ホームカミングデー

第10回ホームカミングデーが平成29年10月7日(土)に大学と共催で開催され、多くの卒業生、地域住民の方々にご参加いただきました。

第5回
学園がえる
カフェ

北の住まいと暮らしを楽園にかえるカフェ



北海道の長く厳しい冬を快適に楽しく暮らすために家づくりや終の住処づくりについて、建築家の藤島喬さんと赤坂真一郎さんに、またサハリンと札幌の冬暮らしについてタレントでロシア語通訳のアリョーナさんに語っていただきました。

聞き手：米田浩志 工学部教授
進行：樽見弘紀 法学部長

北海マルシェ

OBによる産地直送野菜・果物販売や苫小牧支部、道南支部、小樽支部によるご当地特産品販売、蝸牛会による抽選会和輪投げが開催されました。



無料カイロ施術



OB 異業種ネットワーク

協力：日本カイロプラクティックドクター
専門学校札幌校



写真展 写真部
OB会



学食deランチ



2018年度 入試動向について

入試部長 元木 邦俊

平成30年度一般入試、センター利用入試（1期）、併設校推薦入試の合格発表

2月24日（土）に合格発表が行われました。午前10時の発表には受験生や家族が訪れ、アメリカンフットボール部の学生に



よる胴上げや応援団によるエールもあり、祝福の拍手に沸きました。また、同時にインターネットでの発表も行いました。

全国と北海道の進学状況

全国の18歳人口は、1992年度の205万人をピークに、2017年度は118万人、2018年度は117.5万人に減少しています。今後は毎年減少して、2024年には106万人、2031年には99万人と100万人を切る見通しです。いわゆる2018年問題といわれる若年者人口の急減期を迎えます。2017年度、高校新卒者の大学・短大への進学率は、全国54.8%に対して北海道は44.5%と、北海道の進学率は微増傾向にあるものの全国平均よりかなり低くなっています。2018年度大学入試センター試験の志願者数は、全国582,671人（前年比101.2%）と前年より微増していますが、北海道の志願者は18,398人で前年比99.0%と僅かに減少しています。センター試験の現役志願率（高校新卒予定者に対する比率）は44.6%と過去最高となっています。道内の受験状況に影響を及ぼしている要因として無視できないのは、道外の大学による道内の受験者層を獲得する動きです。札幌に試験会場を設けている道外の大学は68大学に及びます。北海道からの出願者数は増加傾向にあり、これらの受験者層は北海道からの出願者層と重なる部分が多くなっています。

表1 平成30年度入試一般入試・センター試験利用入試（II期を除く）入試状況 一般入試

学部・学科	募集人員(人)	志願者数(人)				合格者数(人)
		平成29年度	平成30年度	前年比(人)	前年比(%)	
1部						
経済学部(経済学科・地域経済学科)	160	1,154	1,263	109	109.4	532
経営学科	84	561	529	-32	94.3	190
経営情報学科	70	359	359	0	100.0	144
法学部(法律学科・政治学科)	130	686	740	54	107.9	356
日本文化学科	51	219	224	5	102.3	106
英米文化学科	46	178	208	30	116.9	95
社会環境工学科	23	89	56	-33	62.9	49
建築学科	20	121	120	-1	99.2	84
電子情報工学科	35	103	94	-9	91.3	81
生命工学科	20	81	57	-24	70.4	54
1部計	639	3,551	3,650	99	102.8	1,691
2部						
経済学部(経済学科・地域経済学科)	42	190	184	-6	96.8	100
経営学科	48	120	115	-5	95.8	71
法学部(法律学科・政治学科)	72	182	142	-40	78.0	119
日本文化学科	14	43	26	-17	60.5	14
英米文化学科	10	23	37	14	160.9	17
2部計	186	558	504	-54	90.3	321
合計	825	4,109	4,154	45	101.1	2,012

本学の志願状況

2018年度的一般入試、センター試験利用入試の志願状況は表1の通りです。一般入試は昨年より45人増、センター利用入試は56人増、合計では昨年より101人増となっています。文系学部は志願増である一方、2部と工学部への志願は減少しています。2部は志願数が昨年は急増（2016年の417人から2017年は558人）したことの影響が隔年現象として現れている可能性があります。工学部の減少は、理工系の全国的な志願減と類似の傾向はあるものの、道内他大学の影響（2017年の北見工業大学の改組、2019年の千歳科学技術大学の公立化予定など）についてもさらに分析が必要と思われます。また、入学定員管理の厳格化が3年前から始まり、文部科学省定員に対する入学者の超過倍率は、従来は1.30倍まで許容されていたものが、1.27倍（2016年）、1.24倍（2017年）、2018年は1.20倍と厳しくなっています。この影響についても慎重に検討を行っています。

センター試験利用入試（1期）

学部・学科	募集人員(人)	志願者数(人)				合格者数(人)
		平成29年度	平成30年度	前年比(人)	前年比(%)	
1部						
経済学部(経済学科・地域経済学科)	30	228	229	1	100.4	130
経営学科	30	273	284	11	104.0	177
経営情報学科	30	205	241	36	117.6	162
法学部(法律学科・政治学科)	30	223	194	-29	87.0	112
日本文化学科	12	173	173	0	100.0	131
英米文化学科	12	166	177	11	106.6	135
社会環境工学科	10	146	89	-57	61.0	85
建築学科	12	136	134	-2	98.5	101
電子情報工学科	10	178	172	-6	96.6	163
生命工学科	12	89	143	54	160.7	135
1部計	188	1,817	1,836	19	101.0	1,331
2部						
日本文化学科	3	—	23	—	—	18
英米文化学科	3	—	14	—	—	9
2部計	6	—	37	—	—	27
合計	194	1,817	1,873	56	103.1	1,358

高大接続改革

2021年度入試から本格的に始まる入試改革では、一人ひとりが積み上げてきた多様な力を評価することを求めています。いわゆる学力の3要素（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」）を多面的・総合的に評価する入学者選抜となります。大学入試センター試験は大学入学共通テストと名称が変わり、記述式問題の導入も含めてよりいっそうの思考力・判断力・表現力が必要となる出題形式になるものと予想されています。本学の一般入試については、英語以外は全て記述式なので制度上の大きな変更は不要で、学部学科のアドミッションポリシーと整合性を持つ記述式の問題により思考力・判断力・表現力を適切に評価できると考えられます。一方、推薦入試や社会人入試などの特別入試では多くの志願者にも対応できるように学力の3要素を多面的に評価する方法を開発していくことが課題となっています。

※経済学部・法学部は学部単位の募集です。
 ※2部合格者数は第2志望合格者含みます。
 ※人文学部2部センター試験利用入試（1期）は平成30年度開始です。



昨今の就職環境は「売り手市場」と言われ、学生にとっては有利な環境となっており、厚生労働省が発表した4月の有効求人倍率もバブル期で最も高かった1990年を上回っています。「売り手市場」を反映し、学生に対しては就職情報会社や国、自治体が主催する就職に関する多数のイベントがあり、就職に関する情報過多な状態であるのではないかと感じます。こういった状況の中、学生自身が情報の取捨選択を上手にできたかどうか、大きなカギであったと言えます。次年度についてもキャリア支援センターが開催する学内イベントや人事担当者、OBOGからの情報を整理して、自らのスタンスを持って積極的に就活をしていただきたいと考えております。

さて、本学の学生の就職満足度（非常に満足・どちらかという満足）は89.2%であり、リクルート就職みらい研究所が全国で調査されている数値（80.8%）よりも高くなっています。そして早期からしっかりと準備した学生に満足度が高い傾向にありますので、就職戦線ということ言うと、やはり早期から企業研究や自己分析を進めておく必要があると言えます。

今年度の内定状況としては、昨年よりもやや好調といったところになっています。企業の行う採用活動が早くなっているということについて、そういった傾向は否定しませ

公務員・教員登録状況（2018年1月末現在）

(人)

	2018年 3月卒業 (調査中)	2017年 3月卒業 (最終結果)	
国家公務員総合職	1	1	
国家公務員一般職	95	95	
国税専門官	20	15	
法務省専門職員	1	0	
労働基準監督官	2	3	
財務専門官	3	1	
裁判所職員一般	4	4	
皇宮護衛官（大卒程度）	1	2	
自衛隊幹部候補生	3	7	
自衛隊一般曹候補生	2	10	
北海道職員	一般行政	43	60
	教育行政	5	13
	技術系	1	11
	警察行政	5	14
北海道警察	男性	59	66
	女性	16	12
警視庁警察官	6	10	
その他警察官	1	1	
札幌市	行政	43	36
	技術系	12	5
	学校事務	3	2
	消防	5	11
その他市町村	64	89	
その他 ※	9	85	
小計（公務員）	405	556	
公立学校教員	22	29	
総計	427	585	

※国立大学等独立行政法人、東京消防庁など

ん。しかしながら、北海道内の堅実な企業でも、夏休み前後に採用活動を行っているケースが昨年よりも多くありましたので、最後まであきらめないで努力することが内定獲得の成功につながると考えます。そして、昨今は多くの企業でインターンシップを実施しています。就業体験ということではなく、会社説明会に近い1dayのインターンシップも多くありますが、業界研究ということでは就職活動の準備にはなると考えます。また、本学の強みである公務員の合格状況に関しましても、好調であるといえます。現在はまだ調査中ではありますが、国家公務員一般職、札幌市役所を中心に多くの学生が合格しています。



就職ガイダンス



保護者懇談会（札幌）



経済学部経済学科教授

森下 宏美

MORISHITA Hiromi

一担当科目

学 部 経済学史 I・II、演習

大学院 経済学史特殊講義、経済学史特殊研究、演習

■略 歴 小樽市生まれ。1983年、福島大学大学院経済学研究科修士課程修了。1986年、北海道大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。同年、北海道大学経済学部助手。1989年、釧路短期大学講師。1995年、本学助教授。1998年、本学教授。

■所属学会 経済学史学会、経済理論学会、政治経済学・経済史学会、マルサス学会など。

■主な著書 『マルサス人口論争と「改革の時代」』（日本経済評論社、2001年）、共著に、『マルサス ミル マーシャル』（昭和堂、2013年）、『マルクス抜粋ノートによってマルクスを読む』（桜井書店、2013年）、『マルサス人口論事典』（昭和堂、2016年）など。

経済学の歴史から現在を見る

私が北海学園大学に赴任してから23年が経ちます。40歳の時でしたので、定年まで残すところわずかとなりました。私が最初に教えた学生も40代となり、社会の各分野で活躍されていることと思います。私にとって、教員としての楽しみのひとつは、卒業生たちと飲み交わすことです。定期的に会う卒業生もいれば、思わぬところで再会もあります。これからどんな再会があるか、楽しみです。

昨年からは経済学部では、フロンティア講座と銘打って、経済学部の卒業生を講師に迎え、現在の仕事や社会活動のこと、学生時代に力を入れたことなどについて、在学生に語っていただく企画をはじめました。先輩たちの経験に耳を傾けて、これからの大学生活を有意義に過ごすためのモデルやヒントを見つけて欲しいという狙いです。昨年は、同窓会のご協力も得ながら、1年生を対象に4人の方々に講演していただきました。今年はさらに拡充する予定です。

私の担当する講義は経済学史です。古代ギリシャ、中世ヨーロッパの経済思想からケインズ、ハイエクまでをカバーしようと努めているのですが、いつも時間が足りなくなり、なかなか計画通りにいかないところは今も変わりません。学部が改組されるまでは、履修者が1、2部合わせて700人近くになることもあり、とにかく集中して聴いてもらうために、講義では、大きな声で話すことと、板書を詳しく書くようにしてきました。そのせいか、私語に悩むことはほとんどありませんでしたが、最近はスマホで板書を写す学生の姿が目立ち、シャッター音が気になるという周囲の学生の声も聞かれるようになりました。

研究テーマは、イギリス古典派経済学と救貧思想です。イギリスでは16世紀から20世紀にいたるまで救貧法 (Poor Laws) が存在し、そのもとでさまざまな貧民対策がなされてきました。イギリスは世界に先駆けて資本主義経済が発展した国ですが、救貧法の歴史



1年の基礎ゼミ生と

研究室のいま



琉球大学とのゼミ交流

はその裏面史といえるでしょう。

その救貧法の歴史は、幾多の改革と賛否をめぐり度重なる論争に彩られています。古典派経済学者の一人であるマルサスの救貧法批判は特に有名です。彼は、資本主義経済を擁護しつつ、人口原理に基づいて救貧法を批判し、社会が貧民を直接救済しようとする試みは、かえって貧困を助長すると唱えました。この主張をめぐって論争が展開するのですが、その中で、資本主義経済だからこそ貧民の被救済権 (=社会に救済を求める権利) が保証されなければならないと主張した経済学者たちが存在しました。彼らは、経済学史における位置づけにおいてはマイナーな存在なのですが、その主張は、今日の福祉国家の思想に通じるものとして、積極的に評価されるべきものと考えており、その方面での研究を続けています。

その研究をまとめた一著を2001年に出版したのですが、それを書くことができたのは北海学園大学に職を得たからこそ、と思っています。当時経済学部では、11人の所属教員の単著を、日本経済評論社から「現代経済政策シリーズ」として出版する計画があり、それに加えていただいたことが契機となりました。現在、その後継企画として、「シリーズ社会・経済を学ぶ」を順次公刊しており、すでに11冊が出ています。学部単独でこのようなシリーズを出しているところは、他には例がないと思います。

最後に、北海学園大学でこそ得られた経験をもうひとつ。現在私は、男子・女子ラクロス部とグリークラブの部長をしていますが、5年前に、グリークラブOB合唱団のメンバーに加えていただきました。福島での学生時代にグリークラブに所属していたのですが、40年後に再びこうして男声合唱を経験できるとは思っていませんでした。昨年は、生まれ故郷の小樽の市民会館で、伊藤整の詩集『雪明りの路』による組曲を歌うことができました。学生時代に先輩に誘われるまま、ほんのちょっとかじっただけのことが、同窓生の方々とこの交流のきっかけになったことを、不思議にも、また嬉しくも思っております。



北海道札幌清田高等学校 校長

岡積 義雄 氏

Okazumi Yoshio

法学部法律学科

16期 1982(昭和57)年卒



プロフィール

長崎県佐世保市生まれ、5歳から札幌市在住。大学卒業後、昭和57年に斜里高校に社会科教諭として着任。その後、森高校、札幌丘珠高校に勤務し、平成8年から札幌市立の清田高校、平成19年山の手養護学校高等部教頭、札幌清田高校教頭、同副校長を経て、平成26年に山の手養護学校校長、平成29年から現職。平成15年北海道教育大学大学院修士課程修了、現在、北海道高等学校地理教育研究会会長、平成30年4月より北海学園大学同窓会豊陽会会長。

北海学園大学出身の高等学校長

平成29年4月から北海道札幌清田高等学校長として着任いたしました。これで私を含めて平成29年度は札幌市内に北海学園大学出身の高等学校長が3名(札幌東、札幌真栄、札幌清田)となりました。教職に憧れ、必死に教員採用試験を目指した大学時代の初心を忘れずに、多くの可能性をもつ北海道の高校生のために校長として何ができるのか、何を為すべきなのかを、地域や保護者の意見に耳を傾けながら決断して、学校経営に生かす毎日を過ごしています。



小学生の頃から教員志望で、高校を卒業する時は教員養成系大学や文学部を目指していましたが、昭和53年に本学法学部法律学科に入学しましたが、「本当にこの勉強をしたかったのか」という迷いを残したまま、山岳部に入学して芦別岳、積丹岳、十勝岳、日高山脈、小樽赤岩等々の遠征を繰り返していたところ、あっという間に一年が経ってしまいました。週末の土日は札幌岳の冷水小屋で管理人をしていたため、入学後数か月して、語学選択で編成されたクラスの授業にたまたま出席した際に「お前は誰だ」と不審がられ、時期外れの自己紹介をしたことを思い出します。

大学2年目の時に、山に籠り、現実から逃避していた自分に対して、「このままでいいのか。」と自問するようになり、2年目の途中で山岳部を退部し、当初の目標だった教職の道を本格的に目指すようになりました。その後はワンダーフォーゲル愛好会で活動し、その時の仲間は生涯の友人となり今でも毎年旧交を温めています。



◀昭和54年3月 1年生
山岳部 春山合宿 芦別岳

▼昭和54年10月 2年生
ワンダーフォーゲル愛好会 空沼岳



北海学園大学に入学して本当に良かったと思えたことが、地理学・地理教育において北海道の第一人者だった筒

浦 明教授と出会えたことでした。1年目で「都市地理学」、2年目で「自然地理学」の教養ゼミの合宿や巡検で、野外調査の方法について学び、地形図の読図は山岳部での実践経験を基にさらに深く学ぶことができました。3～4年目は「地理教育法」「教育実習地理」を受講し、法律学科出身なのに教職に就いてからも地理学科出身者に引け目を感じずに授業実践に取り組むことができました。

本来の専門である法学は、千葉 卓教授の「教育法」のゼミで「学校事故」をテーマに研究をしました。当時、千葉先生からは「私のゼミをとると、教員になるのが怖くなります。」と言われましたが、このゼミで学んだことで、生徒の人権や教職員の責務等、学校における教員公務員としての心構えと危機管理の意識が備わりました。

3年目の「地理教育法」の時間に筒浦先生から教員採用試験のことを聞かれました。私は地理学専攻ではないため専門教科に不安があり、中学校社会科で受けようかと迷っていたため、そのことを伝えると「私のゼミで専門教科が劣ることはない。学閥にとらわれず授業力で評価される高校の教員を目指しなさい。」とアドバイスを受けました。その指導に従い、昭和56年8月に北海道高等学校教員社会科「地理」の採用試験を受けて合格しました。

昭和57年4月からは、北海道斜里高等学校で教員生活を始めました。14年間、3校の道立高校で勤務した後、札幌市の現職教員採用試験を受け、平成8年から北海道札幌清田高等学校に異動し11年間勤務しました。平成19年から教頭として着任した札幌市立山の手養護学校高等部で病弱教育と出会い、病気で通常の学校に通えない児童生徒と触れ合うことで、教員としての幅が広まり、改めて教育の原点を学ぶことができました。



平成16年1月 JICA 教師海外研修 エジプトにて

最近では校長・教頭・指導主事等で本学出身者が増えてきました。平成29年度では北海道の公立高校で校長職に就いている同窓生が10名ほどおり、教頭職はおよそその倍の人数となっています。これも、教育の現場で本学出身者の教育実践力や指導力等が高く評価されている証でもあります。

北海学園大学同窓会「豊平会」には教育関係職員支部の「豊陽会」があります。本学の先輩たちは全道の各学校で活躍しています。共に北海道の教育を支えるため、教職を目指す現役の学生の皆さんに「若人よ、恐れず、船を出せ！」と微力ながら後押しができれば幸いです。

現役学生インタビュー

北海学園大学吹奏楽団

庄野 優太さん (経済学部経済学科3年)

全日本吹奏楽コンクールへ初出場、銅賞に輝いた吹奏楽団 「良い音」をテーマにした成果が実る

2017年9月に開催された第62回北海道吹奏楽コンクール大学の部で金賞を受賞した北海学園大学吹奏楽団が、北海道代表として10月末の第65回全日本吹奏楽コンクール大学の部に初出場、銅賞を受賞した。同時に長年、常任指揮者として吹奏楽団のタクトを振ってきた北海学園大学職員の河井裕司さんには指揮者賞が贈られた。楽団創



設以来のこの快挙、第28代団長として団員を引っ張ってきた庄野優太さんにご自身の吹奏楽にかける思いを聞いた。

— ご出身と吹奏楽をはじめたきっかけは？
札幌生まれで出身高校は札幌南陵高校です。楽器を始めたのは、小学校3年生の12月で、きっかけは、友達に一緒にやってみよう

と誘われて自分が通う藤野小学校のブラスバンド部の練習場所に行ってみた際に、なんか面白そうだなとそのまま入ることになってしまいました。

人生で初めて楽器を持ったのはそのときです。テナーサクソでした。体験会みたいな感じで、トランペットとかトロンボーンとか色々体験をしたのですが、吹けなくて、サクソスが良かったです。音が出た。トランペット、トロンボーンはマウスピースを吹かなければいけないけれど、サクソスはリードです。音がよく鳴ったので、先生に「君はサクソスだね」と言われて。その時から離れられなくなりました。

— ご家族など音楽が身近にある環境だったのですか？
そういうのは全くなかったです。譜面も全く読めなかったし、ドレミファソラシドも知らないような状態でした。毎朝、30分から1時間の練習を続けました。中学校に進んでもすぐにブラスバンド部に入部、この時に担当楽器がテナーサクソスからバスクラリネットに変わりました。高校の部活でも吹奏楽部に入っていました。全道大会に2回出場し銀賞で全国大会には進んでいません。

— 北海学園大学に進学した理由は何？
個人的には北海学園大学以外はありません。考えていなかったです。北海道の私学の中でいちばん良いのは学園大という評判が大きかったので。学部は自分がいちばん勉強したいと思った経済学部を選択しました。もちろん北海学園大学に進学しても吹奏楽団に入るとい

— 表彰式の審査結果発表で初めて全国に行くことが決まった時の反応は？
喜ぶというよりは、皆「えっ」という感じでした。どよめきがある感じでした。河井さんが一番喜んでいました。あまり表情には出してはいらっしゃらなかったです。

— 全日本吹奏楽コンクールには何校出場したのですか？
大学は確か13校だったと思います。各地区で金賞を取って、審査員の推薦を受けた学校が出場できます。金賞を受賞する大学はいくつもありますが、その中でも審査員の方からの推薦を受けないと全国大会へは進めません。北海学園大学はA編成、55人までという一番大きい編成で参加しました。

— 吹奏楽団のOB・OGから今回の快挙についてのリアクションは？
先輩方からはたくさん祝福のお声をいただきました。すごく嬉しかったです。やっつけてよかったなと思いました。吹奏楽団の場合はコーチとトレーナーが合わせて4人いらっしゃるのですが、全員OBです。OBの方に支えていただいて、特に指導面でもかなりサポートしていただいています。今回の岡山県倉敷市での全国大会出場は、初遠征ということでOBのトレーナーの方に宿の手配だとか移動の交通の手配だとか、もの



— 演奏にあたってのテーマと今年の目標は？
楽団として一番重点を置いていたのが「良い音」ということです。ひとつ上の代からのスローガンと、今年が目標だったので、「良い音」を自分たちの代になっても引き継ぎ掲げてきた結果が全国大会出場に結びついたと思います。

— 団員トップで話し合ったのですが、スローガンについて少し割れたような気がします。全国大会出場を掲げた方が良いという意見もありました。「良い音」は明確に答えられない抽象的な部分も多いため「何が良い音なの？」という面があります。でも自分たちが楽しんで良い音が出せないと、全国大会というのにはその後についてくるのだと思います。今年も全国大会に行きます！ 私自身は団長を退きました。まだ楽器は吹きますので参加します。下の代がすごく頑張っていますから(笑)。

— 最後にになりましたが、毎年12月に定期演奏会を開いています。是非、みなさん聴きにきてください。(1月11日インタビュー)

OPEN SPACE

オープンスペース

平成 29 年度北海学園大学同窓会奨学生認定証授与式

北海学園大学同窓会第Ⅰ種奨学金の給付が開始され、9月20日（水）、同窓会役員、学長、学部長が同席して、森本正夫会長より奨学生に認定証が授与されました。



第Ⅰ種奨学金給付学生		
経済学部1部経済学科	3年	藤澤 怜大
経済学部1部地域経済学科	3年	水谷 有沙
経済学部2部経済学科	3年	岩下 裕
経済学部2部地域経済学科	4年	若狭 由恵
経営学部1部経営学科	3年	永井 優生
経営学部1部経営情報学科	3年	関根 惇斗
経営学部2部経営学科	2年	遠藤 栗里
法学部1部法律学科	4年	島 彩歌
法学部1部政治学科	4年	田中乃都佳
法学部2部法律学科	3年	内海 紘貴
法学部2部政治学科	4年	鈴木 樹
人文学部1部日本文化学科	4年	上野 梨乃
人文学部1部英米文化学科	4年	太田 莉央
人文学部2部日本文化学科	4年	外館 翔太
人文学部2部英米文化学科	4年	和久井雅斗
工学部社会環境工学科	3年	中村 皓平
工学部建築学科	2年	峰田 雪色
工学部電子情報工学科	2年	荒木関和奏
工学部生命工学科	3年	渡邊 大貴

故・後藤啓一名誉教授の米寿を祝う会 ご報告

北海学園大学にその人ありと言われた後藤啓一名誉教授がお亡くなりになり8年がたちました。今も尚、ゼミOB生の生き様に多大な影響を及ぼしている先生を偲ぶ会合は、亡くなってからもそこここで開かれておりますが、一昨年の七回忌の席で、『来年は先生の米寿の年にあたる。皆でお祝いしよう!』という声が多数上がり、その場で幹事団が指名され、「故・後藤啓一名誉教授の米寿を祝う会」を開催する運びとなりました。

平成29年8月19日土曜日、OB生32名が馳せ参じ、先生の御霊を供養すべく、賑々しく会が開かれました。当日は、会に先立ち懐かしい学び舎を見学できる時間を設け、希望者が北海学園に集合。すっきりきれいになったゼミ室跡や講義の手伝いをした42番教室などを回り、やんちゃな思い出をよみがえらせたOBも多かったです。

午後5時半からの米寿の会には奥様の淳子様・ご子息の伸介様、さらにハワード・ターノフ様にもご出席いただき、懐かしい話に花を咲かせ互いの近況を伝え合う「飲みニケーション」が久しぶりに復活。若手OBが所有していた秘蔵の音源も披露され、久しぶりに先生の講義（講演？）を拝聴しました。懐かしい恩師の肉声に涙ぐむOBもおりました。



授かった後藤マインドを改めて確認し、次回の集まりまで北海学園大学後藤ゼミOB生として先生に恥ずかしくない生き方をしようと再確認した一夜となりました。

後藤先生、いつもありがとうございます、これからもよろしく願いいたします。

1989年卒 経済学部経済学科
後藤ゼミ22期 小林 大介

町長選で再選

遠軽町長 2017年10月23日 3期目
佐々木 修一氏（昭和56年経済学部卒業）

平成29年公認会計士試験合格者

平成28年に続き超難関試験に現役学生合格!!
経営学部経営学科4年
太齊 周平さん

第48回来議院議員総選挙当選者（2017年10月22日投票）

北海道1区自民 2期目
船橋 利実氏（昭和58年工学部卒業）
北海道4区自民 3期目
中村 裕之氏（昭和59年経済学部卒業）

平成29年度 全国支部長会議

平成29年度全国支部長会議が、10月28日(土)12時より札幌パークホテルにて開催され、全国44支部から支部長と支部長代理が出席して支部活動の現況報告等について意見交換がなされました。また、無形文化遺産特別委員会委員 岩崎まさみ客員教授による講演「国際社会における地域文化」、神元隆賢法学部教授による出前講義「振り込め詐欺の現状と対策」が行われました。



役員	氏名	支部名	氏名
会長	森本 正夫	旭川支部	齋藤 昂一
副会長	名塩良一郎	つうけん支部	白崎 智
	関 寛	小樽支部	山本 忠広
	宮本 雅次	岩田地崎支部	武田 稔
事務局長	高田 哲也	北広島市役所支部	山田 基
常任幹事	桑山 博年	稚内支部	吉田 孝史
	杉山 隆俊	木端会	○ 城 秀夫
	大澤 定雄	北社会	湯口 雄司
	日和 哲志	北翔会	工藤 康雅
	小林米三郎	北門会	本間 敦志
	村口 康博	帯広信用金庫支部	松井 浩行
	成田真利子	ゆうほう会	板垣 俊夫
	津島 慧	静内支部	増本 裕治
	須田 勝一	関西支部	澤 定夫
	山本 秀康	伊藤組土建支部	山下 斉之
	濱川 俊久	千歳支部	石塚 雅樹
	常任監事	高岡 昌和	東園会
横谷 貞夫		応援団 OB 尚志会	○ 黒田 健一
支部名	氏名	会計学友会	○ 齋藤 勝宏
	○ 小川 朋栄	写真部 OB 会	成田 民治
空知支部	森 幹弘	サッカー部 OB 会	阿波 昭則
苫小牧支部	花井 紀明	岩見沢市役所支部	○ 木下 栄一
釧路支部	○ 古山 康弘	グリークラブ OB 会	○ 高野 勝義
北見支部	○ 石田 和仁	山岳部 OB 会	名越 茂
根室支部	浅田 哲治	リコージャパン支部	鈴木 紳一
自衛隊支部	佐藤 寿一	札幌南区支部	五味川博都志
札幌東区支部	後藤 哲	江別支部	宮下 次夫
豊陽会	及川 浩史	※経三期会	宮崎 文彦
石狩市役所支部	楠 智裕	※経五期会	藤野 直也
北海学園大学支部	鈴木 和弥	※経六期会	土橋 舜平
札幌市役所支部	岩井 久則	※蝸牛会	木津谷士朗
東京支部首都圏会	福田 和夫		
道南支部			

○：代理 ※：準支部

平成30年度「全国支部長会議」は10月27日(土)正午より札幌パークホテルにて開催予定です。

支部紹介

旭川支部

北海学園大学同窓会「豊平会」の各支部を紹介します。
1960(昭和35)年に支部となった旭川支部です。

創立：昭和35年

〈支部長〉

齋藤 昂一 (さいとう こういち)
昭和44年卒
経済学部経済学科



齋藤 昂一 支部長

〈事務局長〉

阿部 陽一 (あべ よういち)
平成4年卒
法学部法律学科

会員数：40名

連絡先：〒071-8132

旭川市末広2条15丁目9番6号

TEL.0166-57-4436

〈相談役〉

渡邊 史朗 (わたなべ しろう)
昭和38年卒
経済学部経済学科

▶あゆみ

旭川支部は、約30人の会員により昭和35年に創設されました。

その後会員を増やしながら昭和61年には約500人の会員となり、その年に創立30周年を記念して旭川地域同窓の夕べを開催し約90人の参加をいただいたところです。

旭川支部を立ち上げその後も支えていただいたのは、支部繁信支部長をはじめ、副会長の吉田英昭氏と八田光永氏、幹事長の渡邊史朗氏、会計の佐藤昌利氏が中心であります。

特に渡邊史朗氏は長年にわたり本部との連携や旭川地域の人脈を通して今もなお多大なる貢献をいただいております。

平成11年に開催した後しばらく休止状態にありましたが、平成24年に渡邊史朗氏の尽力によって再出発したところです。

そして、平成29年11月に再スタートしてから5年目を迎えることができました。

▶再スタートしてから5年目

平成24年に再スタートしてから同窓会本部のホームページや豊平会報、北海道新聞の伝言板に載せていただいたり、会員の方々の人脈を通して参加を呼びかけてきました。

再スタート当初の頃は市役所職員とそのOBが中心でしたが、呼びかけの効果もあって毎年少しずつでありましたが新しい参加者も増えてきて、その輪が広がってきており再スタートして本当によかったと思っております。

親子で参加していただいた方もいて、その親子で経営する会社がスポンサーとなり、北海道で初めて男子プロバレーボールチーム「VチャレンジリーグIIの北海道ヴォレアス」を創設されており、将来は国内最高峰V・プレミアリーグへの参入を目指していることから今後の活躍が期待されております。

平成29年11月の5周年になる開催では、初めて参加をいただいた方が6人もいてとても和やかに親睦と交流を深めていただいたところです。

同窓の夕べでは、本部の高田哲也事務局長から大学の近況報告をいただき、三浦綾子記念文学館の田中綾館長(現北海学園大学人文学部教授)も出席していただくなど大変に盛り上がった5周年の開催となり、最後に在学中はグ



平成29年度総会

リークラブに所属していた3人のリードのもとに学生歌を参加者全員で合唱してお開きとしたところです。

また、大学入試部において旭川でも毎年秋にミニオープンキャンパスを開催しておりますが、一昨年から「OBからのメッセージ」として地元在住のOBの視点から大学を語るという講演の依頼を受けて、一昨年は南保宏樹氏、昨年は阿部陽一氏(2人とも旭川市役所職員)が講演しており、大学と同窓会が連携するよい企画であり、これからも連携を深めていきたいと思っております。

▶支部のこれから

支部の役割は大学や同窓会本部との連携を図りながら情報を共有していくことがとても大切なことと思っておりますし、地域においては同窓生の繋がりや交流を深めることを目的に懇親会を開いて学生時代の思い出を語り合い、趣味や仕事を通してこれからの人生の活力になってくれればと思っています。

これからも多くの同窓生が参加できるよう日々努めていきたいと思っております。

◆◆◆◆◆ 支部だより ◆◆◆◆◆



空知支部 (8.26)



江別支部 (8.26)



稚内支部 (10.4)



経三期会 (9.16)



豊陽会 (1.10)



北社会 (2.17)



東京支部首都圏会 (10.13)



ゆうほう会 (10.4)



木端会 (2.16)



会計学友会 (10.28)



経八期会 (10.28)



根室支部 (11.11)



旭川支部 (11.22)



伊藤組土建支部 (2.7)

平成30年度支部総会開催予定 (上半期：平成30年4月～9月)

	支部名	場所
4月	写真部 OB 会 (4/21)	ホテルサンルートニュー札幌
	グリークラブ OB 会 (4/21)	ホテルノースシティ
	山岳部 OB 会 (4/21)	札幌市民ホール
	苫小牧支部 (4/28)	グランドホテルニュー王子
	江別支部 (4/中旬)	未定
5月	帯広信用金庫支部 (5/19)	ホリデーインホテル十勝川
	蝸牛会 (5/20)	ホテル鹿の湯
	北海学園大学支部 (5/22)	北海学園大学
	札幌南区支部 (5/25)	ホテルノースシティ
	小樽支部 (5/中旬)	レストラン好 (ハオ)
	岩見沢市役所支部 (5/中旬)	未定
	江別市役所支部 (5/下旬)	未定

	支部名	場所
6月	経五期会 (6/1)	札幌東急 REI ホテル
	経六期会 (6/6)	未定
	関西支部 (6/9)	がんこ阪急東通り店
	サッカー部 OB 会 (6/16)	札幌すみれホテル
	道南支部 (6/29)	未定
	北翔会 (6/下旬)	札幌ガーデンパレス
	応援団 OB 尚志会	未定
7月	道行支部	未定
	釧路支部 (7/6)	釧路プリンスホテル
	東園会 (7/26)	札幌東急 REI ホテル
	札幌東区支部	未定
9月	札幌市役所支部	札幌サンブラザ
	経三期会 (9/15)	未定

クラブ・サークル活動通信

卒業生、サークルOB・OGの皆さん、 応援よろしくお祈いします！

【スカッシュラケット部】 部長 宇田 大輝 経済学部経済学科 4年

こんにちは、北海学園大学スカッシュラケット部です！ 私たちは毎週月曜日の学校練と都合の良い時間に練習するフリー練で個人、団体インカレに向けて日々練習に励んでいます。練習を行う際は先輩とコートに入り、良い点や改善すべき点をアドバイスしてもらいます。その様にして自分が今後どの様なところを直すべきか、どんな練習をすべきかが明確になり技術の向上に繋がっています。

私はこれまで四年目の個人インカレで上位入賞を果たすため、日々練習に励んできました。仲間の強き支えや気持ちの入った応援で、この四年間、最後の一球まで走り抜く事が出来たと感じています。結果は個人インカレベスト8！ 北海道代表者の中では近年無かった成績との事で、お世話になった仲間に少し恩返しが出来ました。これからは私の後輩の時代です。精一杯取り組む後輩達の応援を、今後ともよろしくお祈い致します。



【模型同好会】 会長 松岡 誠 経済学部 1年

こんにちは。北海学園大学模型同好会は現在、一年生から四年生合わせて38名が在籍しており、時にはOBの皆さんと一緒に活動することもある、とても和気藹々としたサークルであります。主な活動は北海道モデラーズエキシビジョン、通称HMEと呼ばれる模型展示会と学校祭での出展を目標としています。

模型同好会というと、模型を製作しプラスチック片や接着剤のセメント臭と日々格闘しており、およそ初心者には敷居の高いイメージがありますが大丈夫。大学に入ってから始めた方が多く、経験豊かな先輩達がレクチャーしてくれるので安心です。そしてレクチャーを受けた後は実践、つまりHMEと学祭に出展する模型の制作です。教えてくれたことを活かしながら、自分のアイディアと技量を活用し、皆模型制作にのめり込みます。各々の作品が次の制作への糧とヒントとなり、部員一同邁進しております。

今年で創立から20年と少しになる模型同好会ですが、OBの皆さまが築いてくれた伝統と気風を守りながら、次世代の意思を尊重できるような活動を目指していきたいと思うので今後ともよろしくお祈いいたします。

事務局からのお知らせ

◆支部長交替

空知支部 平成29年8月26日付(評議員兼務)
安藤 雄一 氏
⇒ 佐藤 佳朗 氏(昭和43年経済学部卒業)

つうけん支部 平成29年9月22日付(評議員兼務)
大石 康文 氏
⇒ 白崎 智 氏(平成3年経済学部卒業)

平成30年度 行事予定	
6月	評議員会 (6/22)
10月	第11回ホームカミングデー (10/6)
	全国支部長会議 (10/27)
	総会・懇親会「同窓の夕べ」(10/27)
3月	卒業祝賀会 (3/21)

住所変更の際はご連絡をお願いします

お手数でも同封の「住所等変更届はがき」(無料)または、ホームページ (<https://www.hgu-dousoukai.org/address/>)、FAX (011-816-1001) にて、同窓会事務局までお知らせくださいようお願いいたします。個人情報は同窓会活動以外には使用いたしません。



キャンパス
vol.4 スケッチ

「三号棟(旧 札商校舎)」

川田 裕之 作

プロフィール: 経済学部経営学科 平成5年卒業

北海学園大学同窓会

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40
TEL: 011-841-1161(内線1148・1168) FAX: 011-816-1001
E-Mail: doso.hgu@k8.dion.ne.jp
ホームページ: <http://www.hgu-dousoukai.org/>